



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒

〈重点目標〉自らよく考え、やり抜く生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和元年11月13日(水)
第23号
発行責任者
校長 鈴木 太
電話 22-3802

祝 バドミントン男子ダブルス東北大会出場 柔道個人第3位入賞!

11月3日(日)と10日(日)に県新人バドミントン大会が開催されました。3日(日)は郡山市西部第二体育館で男子団体戦が行われ、1回戦は2-1で白河二中に勝利し、2回戦は郡山二中に1-2で惜敗しましたが、ベスト8進出で県の強化チーム入りを果たしました。10日(日)に猪苗代体育館で行われた男子ダブルスでは、2年生の佐々木拓己・橋本颯人ペアが1回戦は福島一中、2回戦は明健中のペアに勝利し、ベスト8に入りました。準々決勝では、ふたば未来学園中のペアに惜敗しましたが、東北大会への出場を決めました。なお、東北大会は、12月24日(火)・25日(水)に青森県黒石市のスポカルイン黒石で開催されます。

11月9日(土)・10日(日)には、県柔道新人大会が国見町柏葉体育館で行われました。9日団体戦の予選リーグでは、二本松三中に3勝1敗で勝ち、四倉中とは引き分けでしたが内容差で敗れ、惜しくも予選突破はなりません。10日の個人戦では、81kg級において2年生の山田晃翔さんが松陵中、須賀川三中の選手を破り、第3位に入賞しました。



後期生徒会総会

11月7日(木)、後期生徒会総会が実施されました。3年の荒将人さんと福井遥日さんが議長を務め、後期奉仕部委員会活動計画と生徒会会計中間決算報告について審議しました。自分たちの学校生活をよりよいものにしてと各学年の代表者から建設的な意見が出されました。

生徒会活動は、ともすると一部の役員の人たちに任せっきりになりがちですが、生徒会活動で大事なことは、誰かがやってくれる、何かをしてもらうのではなく、自分はみんなのために何ができるかを考えて、進んで何かをしていく姿勢です。そのような姿勢を育てていきたいと思えます。



後期生徒会総会

中教研二次研 1年1組社会科授業

11月8日(金)の午後、中学校教育研究会第二次研究協議会が行われ、各中学校で研究授業がありました。本校は社会科の会場となり、相馬地方の社会科の先生方が多数来校し、1年1組の社会科の授業を参観しました。

授業では、「地域的特色を生かしたご当地キャラクターを考えよう」という課題が設定され、ヨーロッパを4つの地域に分け、その地域的特色を踏まえたご当地キャラクターのアイデアを出し合いました。個人で考えたアイデアをグループで話し合い、友達の考えと比較しながら、ヨーロッパ全体の地域的特色を捉えていました。生徒の皆さんが活発に話し合う様子を見て、参観された先生方も感心していました。



1年1組社会科の授業

高等学校説明会・進路事務説明会

11月11日(月)午後1時より、「高等学校説明会及び進路事務説明会」を実施しました。各高校の選抜方法やこれからの入試事務について生徒・保護者の皆さんに説明し、共通理解を図ることが目的です。相馬高校、相馬東高校、相馬農業高校、原町高校、小高産業技術高校の順で説明がありました。各高校から校長先生等がお見えになり、詳しく説明していただきました。高校側からの説明の後、進路事務についての説明をさせていただきました。

進路決定に向けて、各学校の説明を参考にするとともに、今後の学校生活において目的意識が高まればと思います。



高校説明会